

項目		説明
試料・情報の 利用目的 及び 利用方法	研究課題名	遺伝性乳癌卵巣癌症候群に対するリスク低減卵巣卵管切除時の卵巣癌、卵管癌および腹膜癌の検討
	研究目的	遺伝性乳癌卵巣癌 (Hereditary Breast and Ovarian Cancer: HBOC) 症候群は、BRCA1/2 遺伝子の生殖細胞系列変異を原因とし、乳癌や卵巣癌が発生しやすくなる常染色体優性遺伝性疾患である。BRCA1/2 変異保持者では、卵巣癌、卵管癌および腹膜癌のリスク増加が認められる。これらは確実な早期発見法がなく、進行卵巣癌の予後が不良なため、HBOC と診断された場合、出産終了後のリスク低減卵巣卵管切除術 (risk reducing salpingo-oophorectomy: RRSO) が選択枝となる。 諸家の報告によれば、RRSO を受け、骨盤内に漿液性病変が認められたのは4~26%とされている。また、その約80%が卵管病変とされている。
	研究対象者	2014年4月~2022年12月までの当院でのRRSO時の卵巣癌、卵管癌、腹膜癌について検討する。
	研究期間	西暦 2017年10月19日 ~ 西暦 2022年12月31日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	当センター研究責任者	近内 勝幸
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし